

一般廃棄物の現況と推移(平成24年度実績)

1 ごみの排出量及び県民1人1日当たりの排出量の推移

- 平成24年度の県内のごみの総排出量は866千トンで、県民1人1日当たりの排出量は1,021g/人日(前年度26g/人日減)でした。
- 平成16年以降減少傾向にあった総排出量及び1人当たりの排出量は、平成23年度において東日本大震災の影響から増加に転じたものの、平成24年度においては平成20年度の水準まで回復しました。平成23年度と比較しますと、計画収集量、集団回収量が若干増加しましたが、直接搬入量は減少しております。

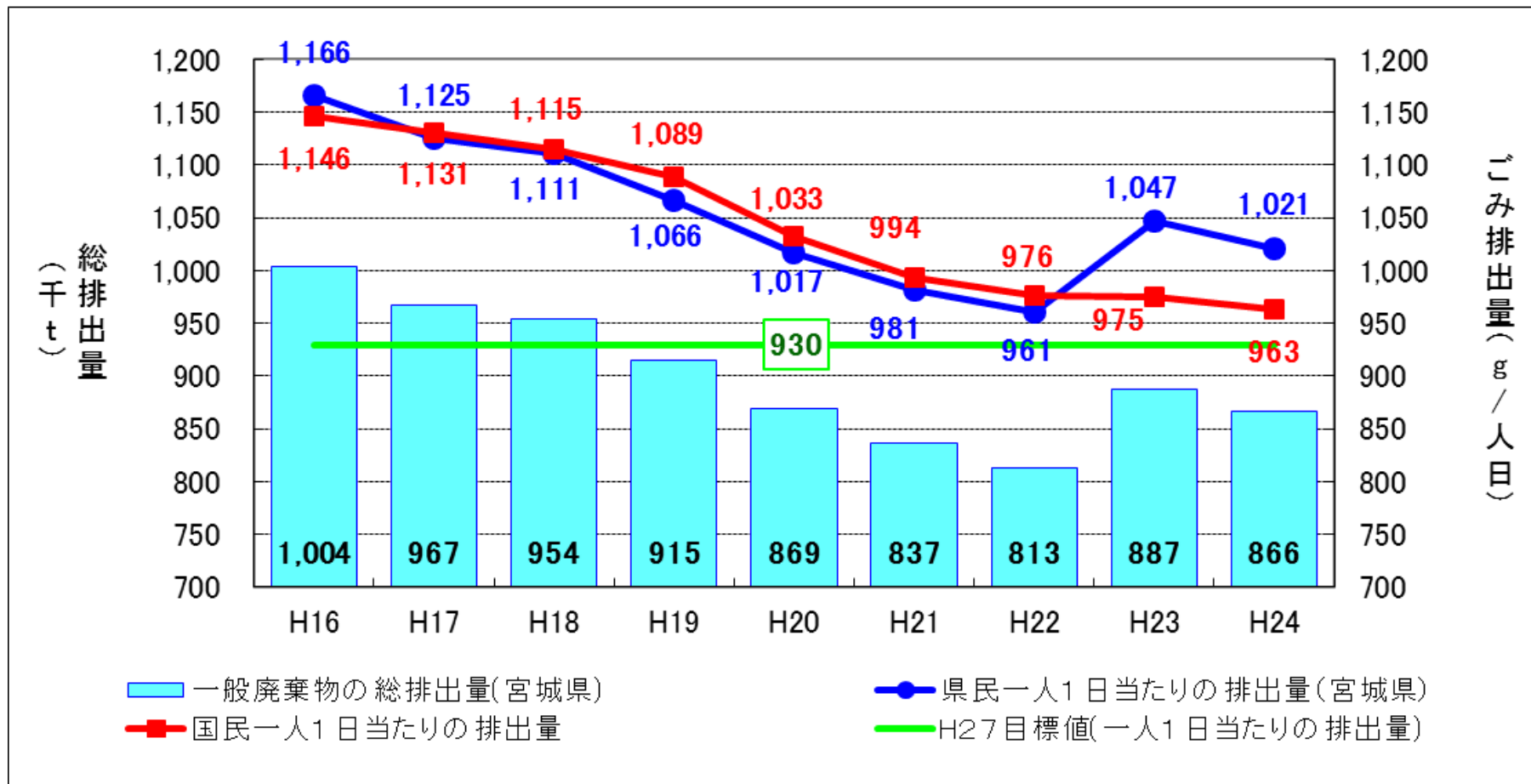


図1 ごみの排出量の推移

2 一般廃棄物のリサイクル（再生利用）率の推移

- 平成24年度の県内の一般廃棄物のリサイクル量は146千トンで、これに事業者の自主的再生利用の実績（91千トン）を加えた宮城県内のリサイクル率は、24.7%でした。
- 平成23年度と比較しますと、全体のリサイクル量は横ばいとなっておりますが、先述のとおり総排出量が減少したため、リサイクル率は上昇しております。

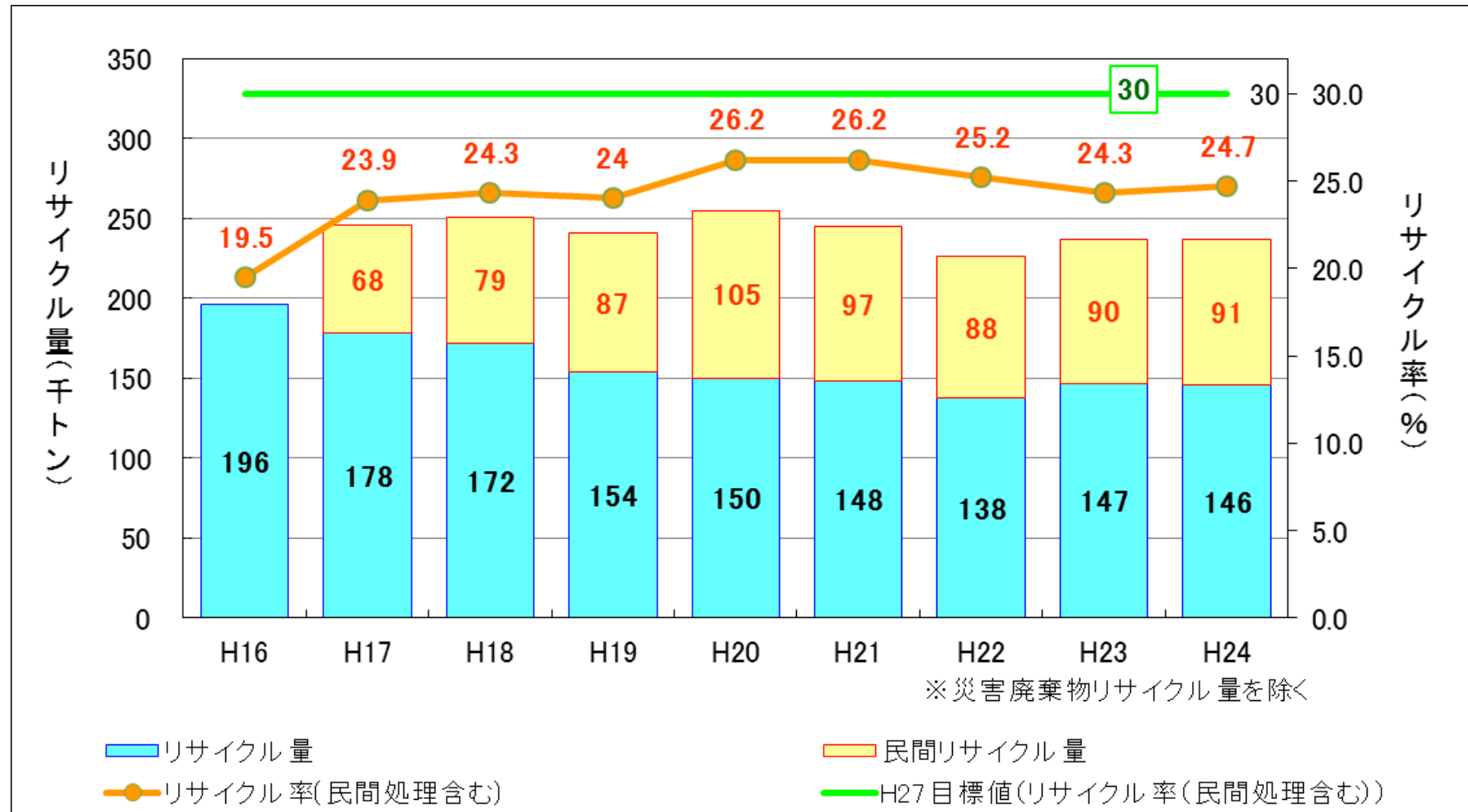


図2-1 県のリサイクル率の推移

○ 事業者の自主的再生利用を除く再資源化量は 146 千トン、リサイクル率は 16.8%で、全国平均を大きく下回っております。

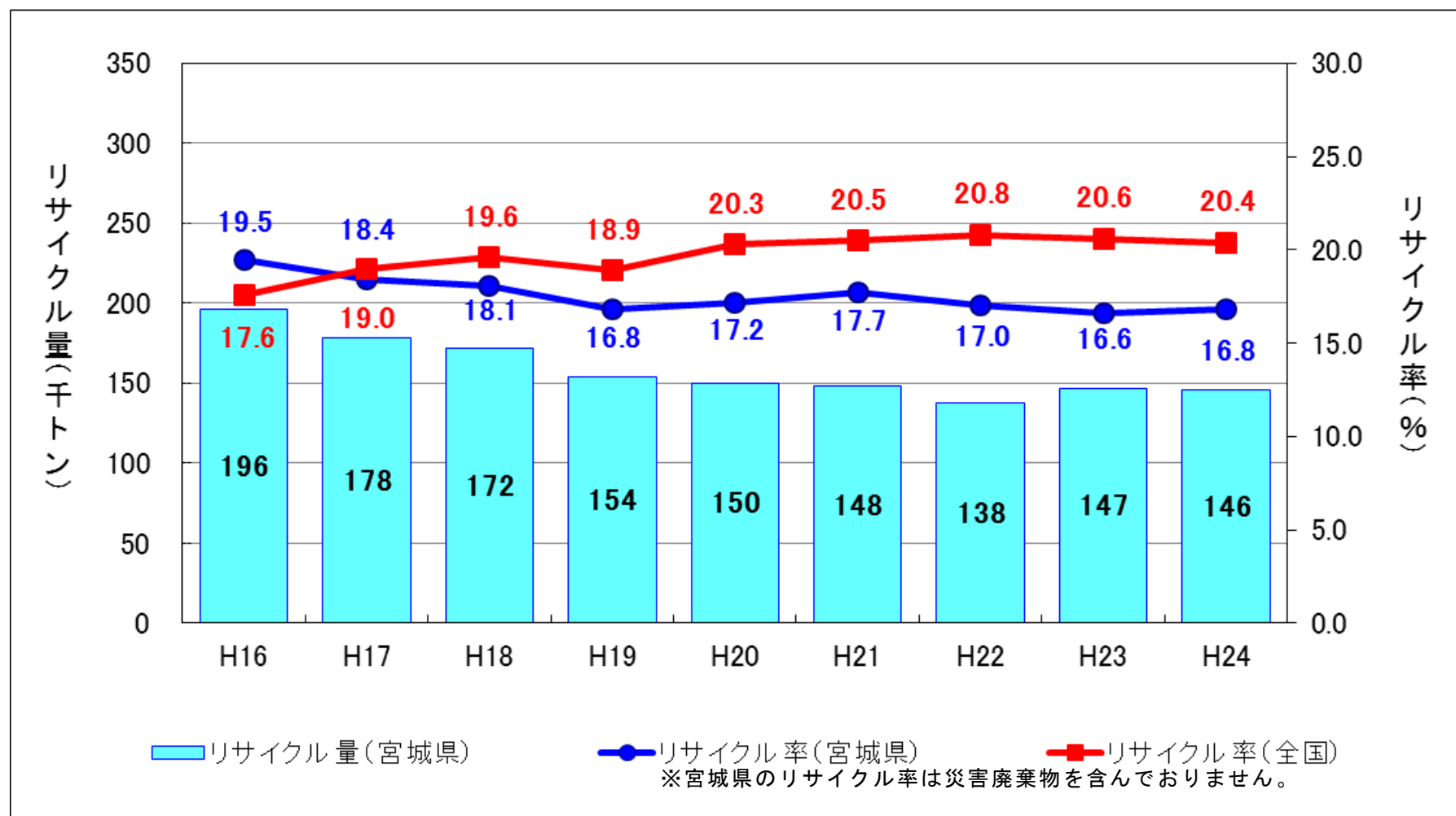


図 2-2 県と国のリサイクル率の比較

3 一般廃棄物の最終処分量・最終処分率の推移

- 平成24年度に埋立場へ最終処分されたごみは113千トンです。東日本大震災の影響で埋立場が大きく増加した平成23年度に比べ、2割近く減少しております。最終処分率につきましても13.1%まで減少しております。

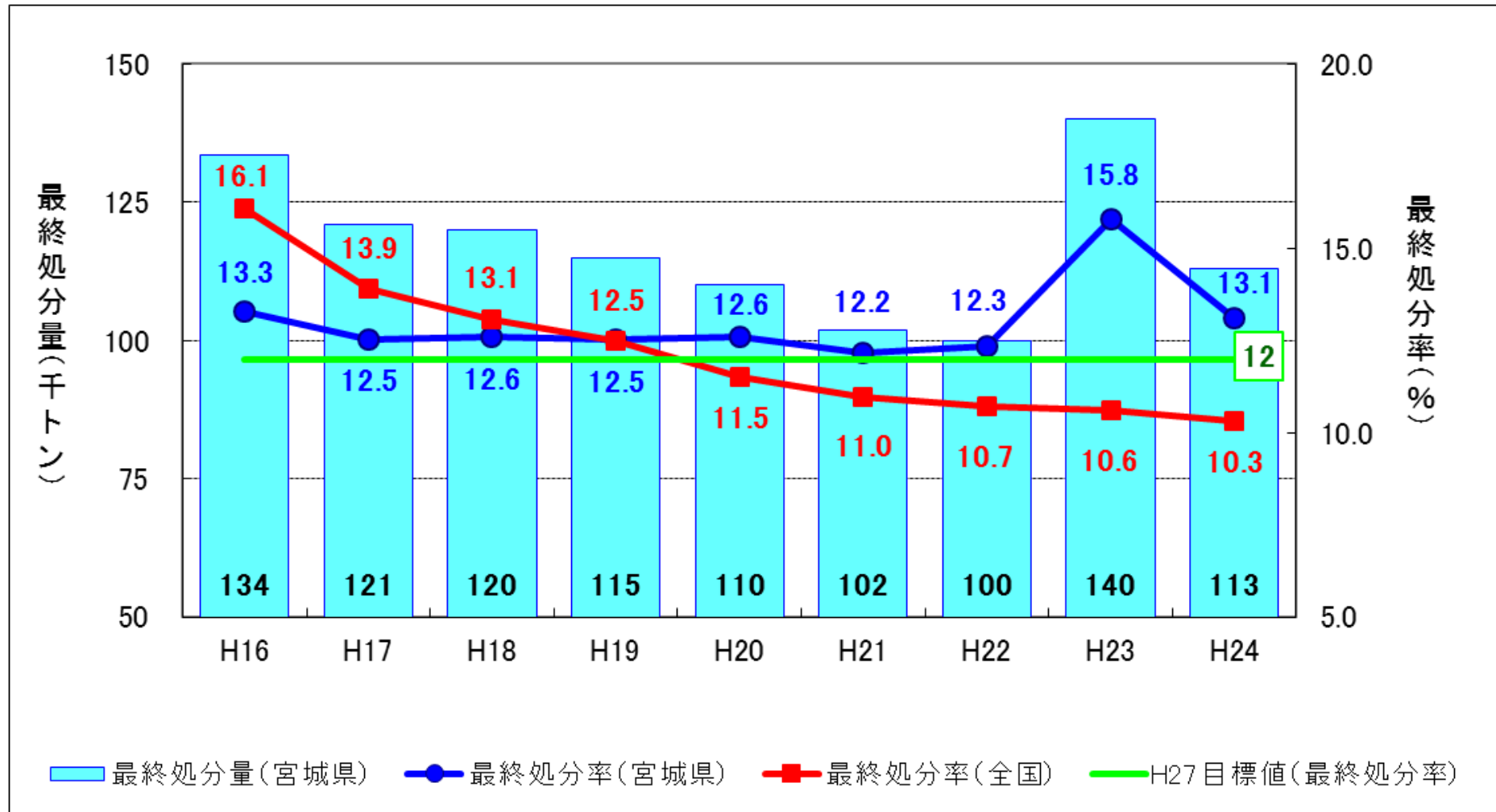


図3 最終処分量及び最終処分率の推移